

令和5年3月 自己評価結果（ドットジュニア 都町 第1教室（児童発達支援・放課後等デイサービス））

厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。  
この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 ＜アンケート調査：R5/11/16～R5/11/26＞	事業所の取り組み状況改善の方針等 ＜職員アンケート及び検討：R5/12/1～R6/1/31＞
環境・体制整備	訓練室等の適切なスペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフが少なく感じることもある。</li> <li>・お迎えの時間を早めてほしい。</li> <li>・平日の放課後デイサービスを利用の児童でも、急遽の午前利用が可能になれば…頻繁にあることではないので難しいことは承知ですが…ご参考までに…</li> <li>・1日預かりを利用しやすい時間にしてほしい。9時スタート希望。朝が遅いとだらけてしまうように感じる。</li> <li>・送迎車のメンテナンス、安全性。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎やご利用につきまして、ご要望はいつでもご連絡ください。皆様が満足できるような形で適宜調整を進めてまいります。</li> <li>・送迎車には置き去り防止装置を設置しています。運転に関しては定期的に送迎研修を実施し、職員の運技術や送迎先の把握に努めています。</li> </ul>
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休み（夏休み）など、毎回遠出をしなくてもいい気がします。</li> <li>・児発と分けてほしい。たまに交流の割合が理想。児発を優先にしている気がする。</li> <li>・送迎時の自宅に帰ってくる時間等も目安などでも大丈夫なので教えて頂けると助かるかなと最近思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆様にご満足頂けるようなプログラムを検討していきます。プログラム内容を、児発と放デイでやり方を変えひとりひとりにあった支援を行っていきます。</li> <li>・送迎時間に関しては曜日ごとで概ね決まっている為、再度皆様へ周知させていただきます。変更等がある場合は分かった時点で報告させていただきます。</li> </ul>
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手をしっかり繋いで歩けるようにもなりました。</li> <li>・行き渋りがあったが行けるようになって視野が広がり、他者との交流やそれに伴う気持ちの処理がずいぶんうまくなった。</li> <li>・弟妹がいないので、下の子への接し方を学べていると思います。</li> <li>・ひもの結び方（蝶結び、固結びなど）や簡単な料理（おにぎり作りなど）や体幹トレーニング（立ったまま靴が履けないので…）</li> <li>・段ボールを使った大型の工作</li> <li>・プール等の運動療育を増やして頂きたいです</li> <li>・日常生活のルールを守るようになった。</li> <li>・子供が他のお友達との関わりだったり、自分で出来る事が増えた。</li> <li>・1日のタイムスケジュールが上手くこなせる様になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所などの関係機関とも連絡を密に取っておりま</li> <li>す。皆様からモニタリングでニーズをお伺いした内容を事業所内でミーティングを実施し、お子様の成長につながるように支援計画を作成しています。</li> <li>・日常生活に必要な動作やルール、マナーについてのプログラム、運動療育を今後多く取り入れていきます。</li> </ul>
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		

関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の中でも年長者になってきて、できる事も増えたと思うのですが、次のステップに進むために、どのように過ごして声掛けするべきか</li> <li>・子供の気持ちが不安定な時など話を聞いてくれたり状況に合った対応をしてくれるので心強いです。</li> <li>・保育参加のように子供達が普段教室でどのように過ごしているか見てみたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長に合わせて、適宜ご相談頂き内容に応じて支援してまいります。</li> <li>・ご連絡頂ければ教室の様子を見に来所頂けるように調整させていただきます。</li> </ul>
	学校との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレント・トレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの為にも、安心できる場所、楽しい場所であって欲しいので、この様な事業所と意見交換出来る機会があれば良いと思います。</li> <li>・必要な持ち物など、自宅になく買わないといけない持ち物があつたりしますので、利用する前日より前にLINEや口頭でも教えて頂けると助かります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後情報共有の機会を事業所と保護者様、またはお集まりいただける保護者様と事業所での機会を検討します。</li> <li>・必要な持ち物のご連絡は前もってお知らせさせていただきます。</li> </ul>
	苦情対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の対応について契約時に説明があったと思うのですがもう一度聞きたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の対応や感染症に関するお知らせを適宜周知させていただきます。</li> <li>・今後お子様たちにも、避難訓練や感染症に関する内容をプログラムを通じて、学んで頂こうと思います。</li> </ul>
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		
満足度	子どもが通所を楽しみにしているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌だった通所が楽しみになり早く行きたがります。</li> <li>・行きたいと思うようになってくれた事にはとても感謝しております。</li> <li>・まだまだこだわりはあるが友達と仲良くしたりできるようになった。</li> <li>・コミュニケーションが通う前より出来るようになった。</li> <li>・自分から意思表示をする事が出来るようになった。</li> <li>・同年代の友達と交流が持てた。</li> <li>・意思表示が言葉できるようになった。</li> <li>・話せる言葉が増えた。</li> <li>・スムーズに切り替えができるようになったと感じます。</li> <li>・お友達と会うのを楽しみにしている。</li> <li>・子供たちの成長が少しずつ変化してると思いません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の対応や感染症に関するお知らせを適宜周知させていただきます。</li> <li>・貴重なご意見ありがとうございます。ご意見も参考にしながら引き続きお子様の成長の助けとなるよう、また楽しんで通うことのできる事業所を目指してまいります。支援方法や教室運営等について、ご相談がございましたらいつでもご連絡ください。</li> </ul>
	現状抱える不安や悩み		
	通所を開始して良かったこと		
	今後期待したいこと		